



昨年引き続き、環境省都市間連携事業に実施主体として採択
北九州市とパラオ共和国コロール州の都市間連携に基づく
脱炭素化の推進とコ・ベネフィット創出を市内企業と連携して目指します
(令和3年度 環境省事業 脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務)



株式会社 ATGREEN(代表取締役：川添 克子/以下、当社とします)は北九州市(環境局環境国際戦略課)、アマタ株式会社、株式会社 EV モーターズ・ジャパン、株式会社クアンド、公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)と共同で環境省「令和3年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務」に採択されました。本事業は、パラオ共和国コロール州において観光業および廃棄物処理業分野における商用車の電気自動車(以下、EV)導入に向けた検討を中心に行うものです。将来的に現地への設備導入に繋げ、市内企業の海外ビジネス展開促進を図るとともに再生可能エネルギー(以下、再エネ)活用拡大と脱炭素化推進、コ・ベネフィット効果創出に繋げていくことを目的としています。

当社は今後も国内外で脱炭素化や SDGs 達成に資する取組を様々なパートナーと連携して進めてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 ATGREEN (アットグリーン) 担当：邊春・小泉・富永

Tel : 0120-26-0589 E-mail : info@atgreen.jp

「パラオ共和国コロール州におけるEV車両導入を通じた脱炭素化促進 およびコ・ベネフィット創出事業」について

1. 参画メンバー 北九州市（環境局環境国際戦略課）
株式会社EV モーターズ・ジャパン
アミタ株式会社
株式会社クアンド
公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）
株式会社 ATGREEN

2. 対象国・地域概要 パラオ共和国コロール州



●パラオ共和国概要

- ・首都：マルキョク(2006年コロールから遷都)
- ・人口：17,907人(2018年世界銀行調べ)
- ・面積：488km²
- ・主要産業は観光産業(2015年の観光客総数は16万人超)
- ・日本人の観光客数も多く訪れる。同年3.1万人超

▽コロール州(左地図赤丸部分)

- ・パラオ国の総人口7割が居住する経済、文化の中心地

(地図出所：外務省HPより)

3. 事業概要

北九州市とパラオ共和国コロール州の都市間連携事業のもとで太陽光発電を活用したEV車両導入を行うことによる再エネ導入促進・化石燃料使用量の抑制・排ガス抑制などのコ・ベネフィット効果の創出に向けた事業実現可能性調査・検討を行います。併せて、現地課題解消に資するその他の環境技術移転の可能性についての調査を行います。

①観光EV車両導入プロジェクト



②廃棄物収集運搬分野導入プロジェクト

